

加西の市立中

# 生徒の髪にライターの火

## 授業中、教諭「姿勢悪い」

加西市の市立中学校

で1月、男性教諭(26)

が授業中、ライターの

火で男子生徒(13)の髪

の毛を焦がしていたこ

とが1日、関係者への

取材で分かった。男子

生徒にけがはなかった

という。同校はこの日

まで、同市教育委員会

に報告してはなかつた。同市教委によると、この男性教諭は1月20日午後2時半ごろ、1年生の国語の授業中、「姿勢が悪い」と男子生徒を再三注意。男子生徒が改めなかつたとして、ズボンのポケットに入っていたライターを取り出して火を付

けた。男子生徒の左側頭部に火を近づけ、毛先を焦がした。

同校の校長は同市教委に対し、報告を怠ったことについて「当事者が納得してくれて、平常通り登校もしていたので、解決したと思

男性教諭は直後に男子生徒らに「冗談のつもりだったが、不適切な行為だった」とわびたといい、同日夜には男子生徒宅を訪れて保護者に謝罪した。男性教諭は「なぜしてしま

か問題行動があった」と把握していない」と説明したという。

同市の高橋晴彦教育長は「対応が遅れ、信頼を損ねる事態となり大変申し訳ない。学校教育に対する信頼回復に向け、指導を徹底していきたい」と話している。(河尻 悟)

# 別の2生徒にも火向ける

## 加西市立中 髪に毛焦がした教諭

加西市の市立中学校の男性教諭(26)が1月、授業中にライターの火で男子生徒(13)の髪を焦がした問題で、この教諭が別の男子生徒2人にもライターの火を向けていたことが15日、分かった。

同市教育委員会は同日、こうした事案の概要を兵庫県教育委員会に報告した。

「カチカチ」と音を鳴らしてライターを向けられた生徒も9人いたという。いずれも髪

市教委によると、同校は今年5月に保護者を聞き、8～10日に全校生徒にアンケートや聞き取りをした。同校は12日にも保護者会を開催。15日に校長が火を向けられた生徒2人の自宅に電話で謝罪した。

校長や市教委は「気心の知れた生徒への、度の過ぎた悪ふざけが常態化していた」と結論づけ、男性教諭の願未書を添えて、県教委に報告した。

市教委は3月にも「市コンプライアンス確立会議」を設けるとしている。(河尻 悟)